

# PRESTO™ A80t

# 20 | のリアクターの冷却 +20°C~-20°C

#### 目的

このケーススタディは、20リットルのガラス製反応器を使用し PRESTO®A80tの冷却テストします。 PRESTO®A80tは、1 mのメタル チューブを2本使用し反応器に接続しています。PRESTO®A80tは、 +20°Cから-20°Cに冷却するようにプログラムされています。

### 周囲環境

周囲環境 +20 °C 45 % 湿度

208 V / 60 Hz 電源電圧



## 試験条件

槽液

PRESTO<sup>™</sup> A80t JULAB0装置 +20 °C 1.2 kW 冷却能力 0 °C 1.2 kW

+20 °C 1.1 kW

3.4 kW 加熱能力 with 帯域制限 0.5 bar 流動圧力 Thermal HL80

20 I ガラスリアクター (Asahi) リアクター

充填量 19 l Thermal HL80

ジャケット容量

External (ICC) 制御方法

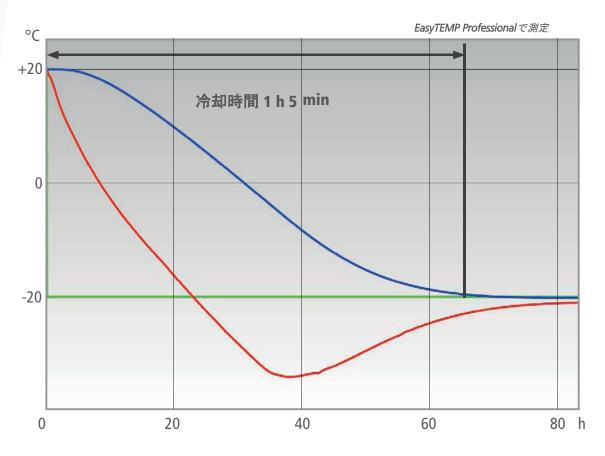






#### 試験結果

PRESTO™ A80tはオーバーシュートなしで+20℃から-20℃まで1時間5分で冷却しました。



設定温度

■ リアクター内温度

■ リアクタージャケット温度



